

2021年の東鉢伏高原における注目すべき蛾類について

坪田 瑛¹⁾・高橋輝男²⁾

はじめに

筆者らのうちの一人は兵庫県で報告の少ないガについてすでに報告(坪田, 2021)した. 今回は我々が2021年に東鉢伏高原周辺で採集した兵庫県で採集例がないかもしくは数例しかないガについて報告する. 前回はヤガ科に限定したが今回はヤガ科以外のガも含める. 記載順序は前回の報告と同じく大図鑑(井上ら, 1982)に則った. なお大図鑑に記載のないアメリカピンクノメイガおよびヨシノアツバはそれぞれの亜科の最後に挿入した. 日本本土では偶産蛾であるハナジロクチバに関しては別に報告した(高橋, 2021).

今回報告するガの採集場所は兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原, 標高約1,000 m)で, 採集者はそれぞれの採集記録に記載した. また, 今回報告するガは全てライトトラップでの採集である.

各種資料

1. シロフクロノメイガ *Pygospila tyres* (Cramer, 1780)

10月8日20時25分に1頭飛来した. 生態写真では白斑が青白く輝いて大変美しい.

本種は日本では四国, 九州, 対馬, 屋久島に分布するが, 群馬県や東京都でも稀に採れている(井上ら, 1982).

本県での記録は宝塚市(宇野, 2020b)や香美町(阪上ら, 2020), 淡路島での目撃例(八木, 2021)がある.

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 8. X. 2021.1ex. 坪田.

2. アメリカピンクノメイガ *Pyrausta inornatalis* (Fernald, 1885)

10月8日21時40分頃に1頭飛来した.

本種は元々北米に分布するガで, 日本での最初の報告は2020年(宮野, 2020; 前田・吉安, 2020)である.

本県でも淡路市での報告(矢口, 2021)がある.

本種は一見マエベニノメイガやウスベニオオノメイガに似ている. しかしながらマエベニノメイガの前後翅には内外横線が明瞭に認められるが, 本種の前翅には

それは認められない. またウスベニオオノメイガとは前翅縁毛の色や後翅の斑紋が異なる. 幼虫の食草はシソ科アキギリ属サルビア・スプレンドゥスといわれている.

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 8. X. 2021.1ex. 高橋.

3. ミミモンエダシヤク *Eilicrinia wehrlii* Djakonov, 1933

6月下旬から8月下旬にかけて計8頭飛来した.

本種の日本での分布は北海道, 本州, 九州であるが, 関東以西では山地性である. 本種は1化で6-7月に採れるとなっているが今回の我々の最も遅い記録は8月27日であった.

本種の幼虫の食草はハルニレ, オヒョウである.

本県では香美町(阪上ら, 2020)で記録がある.

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 21. VI. 2021.1ex. 高橋; 8. VIII. 2021.4exs. 高橋, 坪田; 15. VIII. 2021.1ex. 坪田; 27. VIII. 2021.1ex. 高橋.

4. ヒメツバメエダシヤク *Ourapteryx subpunctaria* Leech, 1891

6月中旬から7月上旬にかけて計6頭が飛来した.

本種は東北地方北部以南の本州, 四国, 九州, 種子島, 屋久島に分布する. 山地性で夏に採れるが少ないようだ. 食草はハイノキ科サワフタギである.

本県での記録は, 神戸市, 宝塚市, 波賀町と神河町砥峰高原(植田, 2009)である.

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 17. VI. 2021.1ex. 高橋; 27. VI. 2021. 4exs. 高橋, 坪田; 1. VII. 2021.1ex. 高橋.

5. モンシロモドキ *Nyctemera adversata* (Schaller, 1788)

9月30日21時46分に1頭が飛来した. 本種の触角は♂♀ともに櫛歯状であるが♀は内側に櫛歯が出ていないことから, 採集したガは♂である.

本種はヒトリガ科のガで伊豆半島以西の本州, 四国, 九州, 対馬, 屋久島, 先島諸島に分布する. 幼虫の食草

¹⁾ Teru TSUBOTA 兵庫県神崎郡市川町; ²⁾ Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町

はキク科のサワオグルマ, コウゾリナ, スイゼンジナなどである。

本県では1950年から1986年にかけて神戸市, 洲本市, 南淡町(高島, 1996), 宝塚市(宇野, 2020a)で記録がある。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 30. IX. 2021. 1ex. 高橋。

6. カラフトゴマケンモン *Panthea coenobita* dae Bryk, 1949

7月下旬から8月上旬にかけて計2頭が飛来した。

本種は北半球温帯の針葉樹林のガで *Panthea* 属で既知なのはこの一種のみである。年2化であり, 5-7月と9月に出現する。幼虫の食草はトウヒ, モミ, カラマツである。

本県での記録は市島町の妙高山(山本, 1954)と波賀町引原(高島, 1988)であり, その後の報告は見当たらない。なお高橋は2014年8月23日に兵庫県福崎町田口で水銀灯の街灯の下にいる本種を確認している。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 30. VII. 2021. 1ex. 坪田; 3. VIII. 2021. 1ex. 高橋。

参考記録; 兵庫県神崎郡福崎町田口, 23. VIII. 2014, 1ex. 高橋。

7. ヒメネグロケンモン *Colocasia umbrosa* (Wileman, 1911)

5月下旬から8月下旬にかけて計8頭が飛来した。

本種の分布は宮城県付近を北限にした本州から九州までの本土域である。年2化で5月と7-8月に出現する。

本県での報告は見当たらず(高島, 1998), 初記録と思われる。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 29. V. 2021. 1ex. 高橋; 8. VIII. 2021. 3exs. 高橋, 坪田; 15. VIII. 2021. 1ex. 坪田; 20. VIII. 2021. 1ex. 高橋; 27. VIII. 2021. 1ex. 高橋; 31. VIII. 2021. 1ex. 坪田。

8. ハンノケンモン *Jocheaera alni* (Linnaeus, 1758)

5月中旬から8月上旬にかけて計11頭が飛来した。

本種は北海道には普通であり本州では東北から中部地方の山間に産するとあるが, ネット検索すると四国でも確認されている。本種は南に行くほど山地性となり西日本では少ない種である。幼虫の食草はミズナラ, オニグルミなどの広葉樹である。

本県では波賀町と関宮町に記録(高島, 1998)があるようだ。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 13. V. 2021. 1ex. 高橋; 5. VI. 2021. 4exs. 高橋, 坪田; 9. VI. 2021. 3exs. 高橋, 坪田; 14. VI. 2021. 2exs. 高橋; 8. VIII. 2021. 1ex. 坪田。

9. ウスアカヤガ *Diarsia albipennis* (Butler, 1889)

5月13日21時6分に1頭が飛来した。

本種は温暖性のガで日本での分布は関東以西から九州に至る本土域と屋久島である。産出は局所的であり, 一般には少ない。年2化で5-6月と9-10月に出現する。

本県では宝塚市で1例記録されている(高島, 2000)のみである。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 13. V. 2021. 1ex. 高橋。

10. ミヤマアカヤガ *Diarsia brunnea* ([Denis & Schiffermüller], 1775)

7月19日22時35分に1頭が飛来した。

本種の前翅は赤褐色, 腎状紋は黄白色で縁取られ, 環状紋と腎状紋の間は暗赤褐色である。冷温帯性のガで日本では北海道, 東北地方, 関東中部山地一帯に産し, 西方は岡山県北部に及ぶ。また四国の剣山からも見いだされている。年1化で7-8月に出現する。

本県では波賀町, 大屋町, 関宮町, 南淡町での記録がある(高島, 2000)。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 19. VII. 2021. 1ex. 高橋。

11. ナマリキリガ *Orthosia satoi* Sugi, 1960

5月8日に1頭と5月13日に2頭が飛来した。

本種は日本特産であり, 本州中部から東北地方に渡る各県に産地が知られている。

本県では市川町(坪田, 2018)および佐用町(戸川, 2019)の2例が報告されている。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 8. V. 2021. 1ex. 高橋; 13. V. 2021. 2exs. 高橋, 坪田。

12. オオノコバヨトウ *Tiracola aureata* Holloway, 1989

8月8日23時45分に1頭が飛来した。

本種はかつてヤクシマヨトウと呼ばれていたがオオノコバヨトウと改称された。本種♂の後翅中室には幅の狭い半透明部が存在するが採集したものには認められないので♀と思われる。本種の分布はインドから台湾を経て日本南部に渡り, 屋久島には多産する。紀伊半島南部, 四国南部, 九州南部, 屋久島, 奄美大島, 石垣島に記録がある。幼虫は多食性でミカン類の害虫とされたこともあるようだ(井上ら, 1982)。

本県では未確認であり, 県南部の淡路での記録が期待されていたが(高島, 2000), 北但馬からの初記録となった。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 8. VIII. 2021. 1ex. 高橋。

1 3. ウスイロキヨトウ *Mythimna inanis* (Oberthür, 1880)

5月中旬から6月中旬にかけて計5頭が飛来した。

本種の前翅は紫褐色で中室端には淡色の「く」の字状の紋を表す。縁毛は薄いピンク色を帯びる。日本では北海道から本州中部に渡って産出し、また九州では久住高原で産する。本種は山地性であり、余り多くないようだ。

本県での記録は波賀町引原の遊磨による1例のみである(高島, 2000)。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 19.V.2021.1ex. 坪田; 5.VI.2021.3exs. 高橋, 坪田; 14.VI.2021.1ex. 高橋。

1 4. クロビロードヨトウ *Sidemia bremeri* (Erschoff, 1867)

8月15日21時7分に1頭が飛来した。

本種は沿海州, 朝鮮, 日本, 中国に分布する。日本では北海道および本州の内陸草原や盆地部に局地的に産し, 西方では岡山県まで記録がある。

本県での記録は木下による関宮町轟での1例(高島, 2001)のみである。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 15.VIII.2021.1ex. 高橋。

1 5. フタスジキリガ *Enargia flavata* Wileman & West, 1930

6月中旬から7月初旬にかけて計4頭飛来した。

本種の前翅は黄褐色で内外横線はほぼ直線状である。紋は不鮮明で腎状紋の部分はやや淡色を呈する。北海道を除き本州から四国, 九州に至る本土域に産し, 幼虫はブナを食べる。

本県における記録は見当たらず(高島, 2002), 初記録と思われる。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 17.VI.2021.1ex. 坪田; 27.VI.2021.2exs. 高橋, 坪田; 1.VII.2021.1ex. 高橋。

1 6. ミヤマキリガ *Cosmia unicolor* (Staudinger, 1892)

8月27日と9月11日にそれぞれ1頭飛来した。

本種の日本での分布は北海道から本州中部山地である。幼虫の食草はシナノキである。

本県における記録は高島の報告でも触れられておらず(高島, 2002), 初記録と思われる。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 27.VIII.2021.1ex. 坪田; 11.IX.2021.1ex. 高橋。

1 7. キシタキリガ *Cosmia moderata* (Staudinger, 1888)

7月19日21時34分に1頭飛来した。

本種の日本での分布は北海道から本州中部であり,

幼虫の食草はシナノキ属である。

本県では大屋町と氷ノ山に記録(高島, 2002)がある。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 19.VII.2021.1ex. 坪田。

1 8. マダラキボシキリガ *Dimorphicosmia variegata* (Oberthür, 1879)

7月19日22時12分に1♂が飛来した。

本種は雌雄異形であり, 日本では北海道から本州中部の山地に産し, また四国では剣山の標高1,400m付近に限って得られている。食草はシナノキ科シナノキである。

本県では美方郡村岡町(現在の美方郡香美町村岡区)での報告(吉田, 2009)が唯一のものである。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 19.VII.2021.1♂. 高橋。

1 9. トガリヨトウ *Virgo datanidia* (Butler, 1885)

8月下旬から9月中旬までに計5頭が飛来した。

本種は沿海州, 朝鮮, 北海道を除く日本, 中国に産し, 7-10月に出現する。前翅は紫灰色でやや淡紅色を帯びる。本県では神河町に記録(八木, 2003)がある。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 31.VIII.2021.3exs. 高橋, 坪田; 5.IX.2021.1ex. 坪田; 11.IX.2021.1ex. 高橋。

2 0. ミヤマクロスジキノカワガ *Nycteola degenerana eurasiatica* Dufay, 1961

6月27日21時22分に1頭が飛来した。

本種の日本における分布は, 北海道, 東北地方から関東, 中部の内陸部と日本海岸, 佐渡島であり, また四国や対馬にも記録がある。食草はヤナギ科である。

本県では東による川西市平野での記録があるのみである(高島, 2001)。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹(東鉢伏高原), 21.VI.2021.1ex. 高橋。

2 1. シンジュキノカワガ *Eligma narcissus narcissus* (Cramer, 1775)

9月下旬から10月中旬にかけて6頭を採集した。特に10月13日には相次いで4頭が飛来した。

本種は食草である中国からのニガキ科シンジュの移入に伴い2次的に入ったものと推定されている。最初の発見は熊本市でありその後ほぼ全国から記録されている。

本県でも柏原町, 西宮市, 高砂市, 南淡町, 鉢伏高原, 和田山町(高島, 2001), 神戸市須磨区(小西, 2009), 伊丹市(安達, 2010; 石川, 2017), 佐用町及び宍粟市(池

田・阪上, 2016), 市川町 (久保, 2016; 高橋, 2016, 2017), 姫路市 (市村, 2017), 養父市 (松尾, 2020) で記録がある。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹 (東鉢伏高原), 26. IX .2021.1ex. 高橋; 30. IX .2021.1ex. 坪田; 13. X .2021.4exs. 高橋, 坪田.

2 2. ハネモンリング *Kerala decipiens* (Butler, 1879)

7月1日22時50分に1頭飛来した。

本種は静止するときは翅を体軸に沿わせて畳んでいる。日本における本種の分布は北海道, 本州, 九州, 屋久島であるが, 西日本では稀な種とされている。食草はヤマハンノキ, ダケカンバ, ヤハズハンノキである。

本県では波賀町, 大屋町および氷ノ山で記録がある (高島, 2001)。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹 (東鉢伏高原), 1. VII .2021.1ex. 高橋.

2 3. ミドリシロモンコヤガ *Koyaga virescens* (Sugi, 1958)

6月上旬から8月中旬にかけて合計5頭が飛来した。

本種は東北地方の秋田, 宮城県下から関東中部地方, 四国, 九州に渡って記録があるが非常に少ないようだ (井上ら, 1982)。

本県では安富町 (高島, 2003) で記録されているのみである。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹 (東鉢伏高原), 9. VI .2021.2exs. 高橋, 坪田; 30. VII .2021.1ex. 高橋; 3. VIII .2021.1ex. 坪田; 20. VIII .2021.1ex. 高橋.

2 4. ナカキマエモンコヤガ *Neustrotia sugii* (Tanaka, 1973)

7月上旬から8月下旬にかけて計2頭が飛来した。

本種は日本特産種でその分布は主に北海道南部, 奥尻島, 東北地方から近畿地方であるが, 熊本県でも採集されている (高島, 2003)。

本県では六甲山での八木らの記録 (高島, 2003) がある。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹 (東鉢伏高原), 1. VII .2021.1ex. 高橋; 27. VIII .2021.1ex. 坪田.

2 5. マダラキンウワバ *Polychrysis splendida* (Butler, 1878)

8月20日21時30分過ぎに1頭飛来した。

本種は沿海州, サハリン, 北海道, 本州, 四国に産する。本州では年2化で6-7月と8-9月に出現する。今回採集したものは2化のものと思われる。幼虫はキンポウゲ科ホソバトリカブト, オオダイブシ, エゾトリカブト

を食べる。

本県での本種の報告は見出せず (高島, 2001), 初記録と思われる。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹 (東鉢伏高原), 20. VIII .2021.1ex. 高橋

2 6. ユミモンクチバ *Melapia electaria* (Bremer, 1864)

5月1日の21時頃と22時過ぎに計2頭飛来した。

日本での本種の分布は北海道から九州の本土域であるがその産出は局地的である。食草はオヒシバなどのイネ科植物である。

本県では村岡町, 養父市, 柏原町, 氷上町, 青垣町 (高島, 2004a), 香美町 (阪上ら, 2020) に記録がある。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹 (東鉢伏高原), 13. V .2021.2exs. 高橋, 坪田.

2 7. ムラサキオオアカキリバ *Rusicada leucolopha* Prout, 1928

8月15日22時45分に1頭飛来した。

日本における本種の分布は北海道, 本州, 四国および九州であり, 関東からの記録はないようだ。食草はシナノキである。

本県においても本種の報告は見当たらない。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹 (東鉢伏高原), 15. VIII .2021.1ex. 高橋.

2 8. ネジロフトクチバ *Serrodus campanus* Guenée, 1852

8月15日の21時30分過ぎに1頭目が, 23時20分頃に2頭目が飛来した。

本種は近畿以西の本土域と対馬, 屋久島, 種子島, 沖縄本島, 西表島では定着していると考えられている。しかしながら本州中部以北での産出も散発的であるが報告されており, また北海道にも採集例があるようだ。暖地の大型のヤガであるが少ないガである。食樹はムクロジおよびクスノハカエデである。

本県での記録は見当たらず初記録と思われる。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹 (東鉢伏高原), 15. VIII .2021.2exs. 高橋.

2 9. マエイトガリアツバ *Anoratha costalis* Moore, 1867

7月1日に♀1頭が, また9月5日には♂2頭が飛来した。

本種は雌雄異形であり, ♂の前翅は幅狭く翅頂はさらに突出し外縁は強く斜走する。本種の日本での分布は本州近畿地方以西, 四国, 九州, 屋久島である。

本県での記録はこれまでに養父市大段ヶ平で採集された1例のみである (高島, 2004b)。但し高島の採集したものは♂ではなくて♀である。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹（東鉢伏高原），
1. VII. 2021.1ex. 高橋； 5. IX. 2021.2exs. 高橋，坪田。

30. ヨシノアツバ *Hypena yoshinalis* (Wileman & West, 1930)

本種はアツバ亜科のガであるが、情報が極端に少なく最近になってようやく調べ始められたようだ。図鑑(井上ら, 1982)でも記載されておらず、インターネットを検索すると四国産蛾類図鑑に写真があるのみである。

本県における記録はなく、初記録と思われる。

【採集記録】兵庫県美方郡香美町村岡区大笹（東鉢伏高原），
30. IX. 2021.1ex. 坪田。

○参考文献

- 安達誠文, 2010. 伊丹市昆陽池町で発生したシンジユキノカワガ, きべりはむし, 32(2), 7-8.
- 池田 大・阪上洗多, 2016. 播磨地方西部におけるシンジユキノカワガの記録, きべりはむし, 38(2), 49.
- 石川佳史, 2017. 兵庫県西宮市でシンジユキノカワガの幼虫を採集・羽化の観察, きべりはむし, 39(2), 7-8.
- 井上寛・杉次郎・黒子浩・森内茂・川辺湛・大和田守, 1982. 日本産蛾類大図鑑, 講談社.
- 植田義輔, 2009. 2004年5,6,7月に砥峰高原で採集された蛾類, きべりはむし, 32(1), 44-48.
- 宇野宏樹, 2020a. 宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録Ⅱ, きべりはむし, 43(1), 18-28.
- 宇野宏樹, 2020b. 宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録Ⅲ, きべりはむし, 43(2), 21-25.
- 久保弘幸, 2016. 兵庫県市川町でシンジユキノカワガを採集, きべりはむし, 38(2), 50.
- 小西堯生, 2009. 神戸市須磨区でシンジユキノカワガを採集, きべりはむし, 32(1), 63.
- 阪上洗多・宮野昭彦・後藤聖士郎・岩下幸平・クルズスキー淳子・間野隆裕・松井悠樹・Khine Mon Mon Kyaw・那須義次・奥尉平・富沢章・外村俊輔・屋宜禎央, 2020. 兵庫県で開催した第79回レピドプテリストセミナー(レピゼミ)で採集された蛾, 誘蛾燈, No.240, 32-40.
- 高島昭, 1996. 兵庫県版レッドデータブックの蛾(兵庫県産蛾類分布資料・5), きべりはむし, 24(2), 35-44.
- 高島昭, 1998. 兵庫県のウスベリケンモン亜科とケンモン亜科 兵庫県産蛾類分布資料・9, きべりはむし, 26(2), 44-58.
- 高島昭, 2000. 兵庫県のモンヤガ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・16, きべりはむし, 28(1), 77-88.
- 高島昭, 2001. 兵庫県のウワバ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・22, きべりはむし, 29(2), 31-39.
- 高島昭, 2001. 兵庫県のキノカワガ亜科・リングア亜科, サラサリングア亜科(兵庫県産蛾類分布資料・23), きべりはむし, 29(2), 40-49.
- 高島昭, 2002. 兵庫県のカラスヨトウ亜科(その2), きべりはむし, 30(2), 32-43.
- 高島昭, 2004a. 兵庫県のシタバガ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・30, きべりはむし, 31(2), 25-43.
- 高島昭, 2004b. 兵庫県のアツバ亜科 兵庫県産蛾類分布資料・31, きべりはむし, 31(2), 44-55.
- 高橋輝男, 2016. 二年連続して兵庫県市川町でシンジユキノカワガを観察・採集, きべりはむし, 39(1), 22-23.
- 高橋輝男, 2017. 2017年の兵庫県市川町でのシンジユキノカワガの採集記録, きべりはむし, 40(1), 36-37.
- 高橋輝男, 2021. ハナジロクチバを兵庫県香美町で採集, きべりはむし, 44(2), 53.
- 坪田 瑛, 2018. ナマリキリガを兵庫県市川町で採集, きべりはむし, 41(1), 27-28.
- 戸川元貴, 2019. 兵庫県佐用郡でナマリキリガを採集, きべりはむし, 42(2), 57.
- 松尾隆人, 2020. 氷ノ山・鉢伏山の注目すべき蛾類の記録, きべりはむし, 43(1), 29-35.
- 八木剛・中西明德・稲畑憲昭・杉野広一・植田義輔・勝又千寿代・木全俊明・古賀督尉・高島昭, 谷口登志夫・中濱春樹・福島秀毅・水野辰彦・森脇竹男・山崎敏雄・吉田武, 2003. 砥峰高原の昆虫相-2002年の調査から-(第一部), きべりはむし, 31(1), 1-46.
- 八木剛, 2021. 淡路島公園8月オールナイト調査【後編:オールナイトが必要な理由】, 輝け☆昆虫少年, 2021年8月21日更新. <http://pedemontanum.blog.fc2.com/blog-entry-185.html> (2021年12月最終閲覧)
- 矢口芽生, 2021. 兵庫県淡路市でアメリカピンクノメイガを確認, きべりはむし, 44(1), 100.
- 吉田武, 2009. マダラキボシキリガ ハチ高原で記録, きべりはむし, 32(1), 62.



図1 シロフクロノメイガ (開張 46mm)



図2 アメリカピンクノメイガ (開張 16mm)



図3 ミミモンエダシャク (開張 32mm)



図4 ヒメツバメエダシャク♀ (開張 39mm)



図5 モンシロモドキ (開張 50mm)



図6 カラフトゴマケンモン (開張 55mm)



図7 ヒメネグロケンモン (開張 35mm)



図8 ハンノケンモン♀ (開張 45mm)



図9 ウスアカヤガ



図10 ミヤマアカヤガ



図11 ナマリキリガ (開張 35mm)



図12 オオノコバヨトウ (開張 60mm)



図13 ウスイロキヨトウ (開張 35mm)



図14 クロビロードヨトウ (開張 47mm)



図15 フタズキリガ (開張 30mm)



図16 ミヤマキリガ (開張 33mm)



図17 キンタキリガ (開張 37mm)



図18 マダラキボシキリガ (開張 28mm)



図 19 トガリヨトウ (開張 26mm)



図 20 ミヤマクロスジキノカワガ (開張 25mm)



図 21 シンジュキノカワガ (開張 82mm)



図 22 ハネモンリングア



図 23 ミドリシロモンコヤガ



図 24 ナカキマエモンコヤガ



図 25 マダラキンウワバ (開張 37mm)



図 26 ユミモンクチバ (開張 34mm)



図 27 ムラサキオオアカキリバ (開張 46mm)



図 28 ネジロフトクチバ (開張 79mm)



図 29 マエキトガリアツバ♂ (開張 39mm)



図 30 ヨシノアツバ (開張 27mm)